

同窓会報

発行所
三重県鳥羽市池上町1の1
鳥羽商船高等専門学校内会
鳥羽商船同窓会
〒517 電話 (0599) 25-3137
製 作 所
大正堂印刷所

創基100周年記念特集第4号

ごあいさつ

同窓会長

西島好夫

梅雨の季節とてさすがに、不順な天気つきですが、各位におかれましては、ますますご健勝に涉らせられご活躍賜っておりますことと、衷心よりおよろこび申し上げます。

扱ってかたから格別のご高配をいただきておりました母校創基百年記念事業計画も、おかげさまで順調に進んでおりますが、これ偏えに、母校をこよなく愛せられる各位のご熱意の結晶にほかならぬものと深く感謝いたしております。

記念事業の経過についてはすでに逐次報告してまいりましたが、六月七日今年度の総会における総まとめを、改めて茲に臨時会報として、お目につけたいと存じます。

このたびの総会は、例年今までにない熱意に燃える中で、まことに楽しさいっぱいに終始いたしました。これは記念事業が目的完遂に向って、全く明るい見透しがあつてこそといえることでした。事業のうち、百年記念碑は正門を入ると近藤碑右前に重量十六噸の堂々たるものが、百個の石積の上に、校舎に映えて、すでに完成しています。記念館は、最近設計をおわり、着工の運びとなつていますが、十分に念を入れてのために、多少工事がおくれ、記念当日には、凡そ完成の姿をお目につけることになつたさうですので、ご諒承願います。

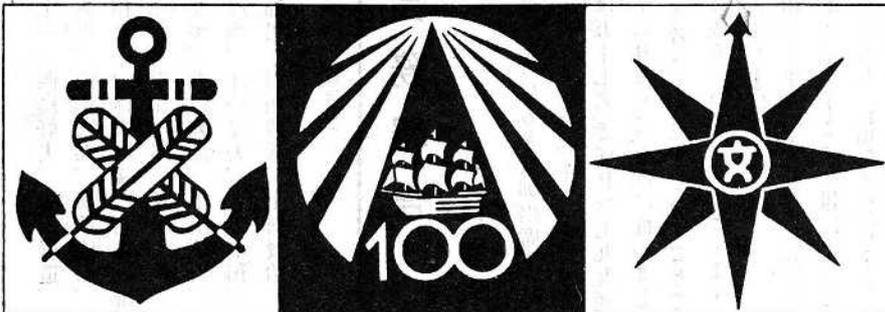
その他事業全般の準備は、それぐの委員会で着々と進められておりますので、ご安心をお願い申します。記念式典会場となる新しい体育館も学校側が特に文部省に懇願した結果、早期に立派に完成しております。

記念事業に要する募金は、すでに目標額の90%を越えるに至りましたが、同窓会各支部の涙ぐましい御努力をはじめ学校側、関連、企業各位の格別の御高配の賜もので、まことに有難い極みでございます。

母校の歴史上、最大の慶祝式典が挙行され、これを記念する大事業が、あともう一息で目的を完遂するわけでございますので、この上とも、各位のご懇情溢るご指導とご支援を重ねてお願い申し上げます。

時節柄何とぞ御自愛まに遊ばされますよう切にお祈り申し上げ、ごあいさつといたします。

創基100周年記念事業シンボルマーク



新旧校章の部分は台地が白で校章は赤色。中央の黒い部分は紺色で模様及び数字は白抜き。地球に七つの海と船がアレンジされています。

本部便り

同窓会本部総会

会長挨拶 学校長挨拶

今年もまた六月の第一日曜と決められております本部総会が開催されるに当りまして、皆様方には切角の休日であり乍ら遠路はるばる多数出席下さいまして有難うございます。同窓会を愛しました母校を愛する皆様方の暖い御気持ちに對しまして心から御礼申し上げます。

すでに先日皆様方には創立百周年記念事業後援会から詳しく御報告申し上げておりますが、今年の本部総会は、例年と異りまして来る十一月の創立百周年の記念式典に對処する意味におきまして大変重要な意義をもつものであります。総会は例年どおりの前年度の事業報告、会計報告等を行ひまして、そのあと引き続き創基百周年記念事業後援会の総会が開催されますので、とりあえず同窓会の総会次第に従ひまして、皆様方の御審議を賜りますようお願い申し上げます。本日の御出席に對しまして重ねて御礼申し上げます。

(一同拍手)

同窓会総会にお招き下さいまして有難うございます。創基百周年記念事業に對しまして、学校はその円滑な推進に努力いたしてあります。皆様方も御承知のように、STCW条約及び船員の近代化という二大問題に對しまして学校は大変苦慮している状況であります。

STCW条約は昭和五十七年に条約が批准されますと、学校といたしましては教育課程の総点検を行わなければならないこととなります。レーダシミュレーターによる訓練等につきましては学校側で行い得るわけでありませんが、サブイバルについてや消火等についての対応となりますとすぐには実施できないのが現状であります。

これらの問題解決の方法として、企業によるトレーニング・センターの整備等が必要になります。基本的な面についてのみ学校側で対応するということとなります。

次に船員の近代化につきまして、十八名乗組の実験船が試行されておりますが、これはA、B、Cの三段階のA段階でありまして、ゼネラル・パーソン、船員すなわち

航機両用の船員によって運航されているわけでありますが、B、C段階と進行しますと、航機両用船員の比率が一層高まるわけであります。

現在のような技術革新のテンポの速い時代におきましては、学校における教育について考えましても、航機いづれか一学科だけについても大変であるところにさらに航機両用のワッチ・オフィサーに仕上げるということは、現在の状況では学校では到底無理な問題と



思われます。この点についても企業にお願いしなければならぬ面が多く出てくるものと考えられます。学校といたしましては、三年までを航機共通の教育を行っておきまして、主として基礎教育に重点を置きまして、航機の幅が狭い教育方針を採っております。しかし新しい学科も多いことから学生もその対応にとまどっている状況であります。

以上述べました二つの大きな嵐が迫っておりますが、これをなんとしても乗り切つてこそ始めて立派な学校となるわけであります。今後の教育に反映させて行きたいと思ひます。

(一同拍手)

総会式次

- 一、開会の辞
- 二、会長挨拶
- 三、学校長挨拶
- 四、議事

イ 昭和五十五年度会務報告
ロ 昭和五十五年度会計報告
ハ 会計監査報告
ニ 役員改選

- ホ 昭和五十六年度事業計画
- 五、閉会の辞

(支部報告は創基百周年記念事業後援会で行いました)

総会出席者

(順序不同)

N科

和田春生、小池忠平、加藤重三郎、小島明正、押尾定夫、竹内作夫、西川慶堂、竹内茂七、松本暢生、落合弘明、中村武史、浦田楠雄、浅野和昭、江崎広治、岩田利雄、林 幹夫、辻 裕、関口展生、山崎 修、前野佳三郎、岡崎武義、中島好康、中西 勲、裕口輝治、深津 薫、金子為人、平石千代松、西川義徳、大久保徳夫、西飯高寺、内宗助、水谷忠二郎

小甲和己、岡室孝実、有本宏司、田中三郎、鈴木秀司、岡本吉範、坂口浩一、待井信一

E科

沢田定一、西島好夫、堤 好造、駒田秀男、山本太郎、東爪佐七、上野和泉、山林規矩蔵、酒井道雄、伊藤邦生、西井一郎、森田 勲、尾崎幸平、浜口嘉伸、小出政夫、大東達明、江崎隆夫、大野平和、田中節男、河西豊彦、上村賢治 六十一名

会務報告

落合理事

お暑い中皆様方多数御出席下さいまして有難うございます。本日の御出席は五十七名、委任状は七九九通参つておりまして、会則に従ひまして、出席者三十名以上ということので総会は成立いたしましたことをまます御報告申し上げます。

昭和五十五年度の事業報告に移らせて頂きます。すでに会報によって何度も皆様方にお知らせいたしましたように活動の中心は母校の創基百周年記念事業に對する募金でありました。会長、副会長、各支部長、長さんを中心といたしましてあらゆる方法によりまして募金を推進して参りまして、皆様方の暖い御協力を仰いでおりますことに対しまして厚く御礼申し上げます。昨年はその意味におきまして、会報を五月、八月、十一月、そして今年の三月と四回発行いたしました

して、皆様方に創基百周年記念事業についての訴えを行って参りました。

現在連絡がついております会員数は約二、五〇〇名でありますので、四回の会報、総会の御案内、さらに同窓会名簿等を合わせますと一四、〇〇〇以上の文書を発送することになりますので、私及び斎藤理事は、夏休み、冬休み、春休みを返上しましてこの仕事に従事して参りました。おかげをもちまして、皆様方の私共に対する暖い御配慮が日一日と高まりまして、現在七、五〇〇万円の募金を頂きまして本当に喜しく思っております。私共本部事務局におる者といましては、山門校長を盛り立てまして、母校の創基百周年記念事業を立派にやりとげなければならぬという決意でもってこの一年間を募金活動に専念してきておりましたが、私も至らぬところがございますので、皆様方からの御連絡につきましても、すぐに対応できずに御迷惑をおかけしたと思っております。今後は私と斎藤理事のいずれかが皆様方とすぐに対応できますような体制を採って参りますのでよろしく御了承の程お願い申し上げます。

昨年(昭和五十五年)の主な事業の一つとして会員名簿を九月末に一、五〇〇部製作いたしました。これは創基百周年記念号としたものでございまして、明治十四年以来通しの期数が入っているのが特徴であります。デザインは私共が考えまして、旧新の校章をモチーフとし、近代船

を配置した表紙(デザインは好評を得まして喜しく思っております。この新名簿は在校生、実習生につきましても全部収録されております。学生につきましては、全員が希望しましたので配布いたしました。従いまして残部は一〇〇通余りとなっております。御希望の方は早目に御連絡をお願いいたします。

次に各支部の総会、幹部会あるいは合同クラス会等が開催されました際には、できるだけ本部より私か斎藤理事さらには若い派遣教官が出席しまして、募金活動に対する御協力をお願いして参りました。おかげ様で皆様方との御連絡も目下のところ非常にスムーズであることを御報告申し上げます。

会計報告

落合理事

おかげをもちまして同窓会活動がこの創基百周年記念事業の推進と併行しまして大変活発になりました。

私はかねてから同窓会の基金の確保を考えて参りまして、会費の徴収にも力を注いで参りました。七十五名の新卒者が新会員として入会されました。新入会員につきましては二年分を頂きました。次に一般会費につきましては、私共事務局の方針を御理解願えまして、延一、二、三七名の会員が送金下さいまして例年の三倍という会費が集まりました。厚く御礼申し上げます。

会報を一回発行いたしますと郵送料が上りました関係で約四十万円かかりますので、今後はこの点についての対策も必要かと思えます。基金を増加するという意味から一般会計から、四二五万円だけ移しまして、同窓会本部の今後の活動を強化することといたしました。現在基金は大幅に増加したことになります。御報告いたします。本日現在ではさらに基金が増加しまして約一千万円となっております。本当に有難うございました。

会計監査報告

竹内作夫理事

関係書類一切を厳重にチェックいたしましたところいづれも全く問題はありませんでした。大変な仕事量でございまして、母校に残られた落合教官始め各教官の御苦労をここで皆様と共に労いたいと思っております。よろしく御礼申し上げます。

役員の変更

会長

本年は会則では役員の変更の時機に当たっておりますので、皆様方から何か御指示を頂ければと思っておりますが如何でしょうか。もし御意見がなく本部案を御了承下さるということでありましたら次のような二件について御賛同を得たいと思っております。

第一は創基百周年記念行事もあと四カ月に迫っております関係上、ここで役員の変更ということ、は、会の運営上問題があると思われまので、とりあえず来年六月まで一年間の留任を提案いたします。第二は、本部副会長として長年同窓会の中心的役割を果してこられた山口英雄氏が健康を害されまして目下静養されておりますのと、昨年竹内清磨副会長が亡くなられてからすでに一年以上も経っておりますので、本部担当の副会長不在の状態を続けることは問題がありますので、この際西川慶堂伊勢・志摩支部長の副会長就任を提案いたします。

第三に大阪支部より理事一名の増員希望があり長谷川俊治氏の就任を提案いたします。

- 会長 吉村武男、谷口英雄
- 副会長 西島好夫、小島明正、押尾定夫、西川慶堂
- 理事(本部) 竹内作夫、西島好夫、堤好造、駒田秀夫、西川慶堂、上野和泉、落合弘明、竹内茂七、松本暢生、斎藤隆、中村武史

- 理事(函館支部) 梶田文彌
- 支部長 江崎広治
- 支部長 小島明正、浦田楠雄、浅野利昭、林幹夫、小山逸男、辻裕、岩田和雄

- 理事(名古屋支部) 関口展生
- 支部長 内藤平七、梅山三郎、山崎修、山本太郎
- 理事(四日市支部) 今高光雄
- 支部長 北岡万二、中野清文、片山勝則

- 理事(大阪支部) 小原博
- 支部長 西山誠作、中要勸、長谷川俊治、橋本博行
- 理事(神戸支部) 前野佳三郎
- 支部長 岡崎武義、前野佳三郎、中島好康、東爪佐七

- 理事(関門支部) 福永芳雄
- 支部長 福永芳雄
- 理事(伊勢・志摩支部) 加藤重三郎、小池忠平、西川慶堂
- 支部長 加藤重三郎、小池忠平、西川慶堂

新役員

顧問 齊藤常三郎、高橋武衛門、加藤重三郎、小池忠平、細川英一、沢田定一、本部理事全員が兼任

昭和55年度一般会計決算 (昭和56年3月31日現在)

Table with 4 columns: 摘要 (Summary), 収入 (Income), 支出 (Expenditure), 残高 (Balance). Rows include items like 繰越金 (Carryover), 入会金 (New members), 同窓会名簿 (Alumni list), and 寄付金 (Donations).

基金の部決算 (昭和56年3月31日現在)

Table with 4 columns: 摘要 (Summary), 収入 (Income), 支出 (Expenditure), 残高 (Balance). Rows include 繰越金 (Carryover), 預金 (Savings), and 計 (Total).

財産目録 (昭和56年3月31日現在)

Table with 4 columns: 項目 (Item), 金高 (Amount), 左の内訳 (Details), 金高 (Amount). Rows include 貸付信託 (Loan trust), 金銭信託 (Money trust), 定期預金 (Term deposit), etc.

西川新副会長挨拶

大してお役に立てないと思ひます。また立たないと思ひます。しかし地元にいる身として、会長ならびに母校に残ってがんばっておられる落合教官を始めとする教官方をお手伝いできればというこ

事業計画

落合理事

いよいよ本年は創基百周年の年であります。私共といたしましては本日の総会の模様を六月末を目標に会報として会員にお知らせしたいと考えております。

昨日の理事会でも御承認を得ましたが、記念式典に出席されます会員の宿舎の確保についての記事も乗せたいと思っております。すでに伊勢市の神戸會館を始め鳥羽市内にも宿舎を確保してあります

が、私の推定として四〇〇名以上の会員が出席されると思ひます。クラス会ですでに宿舎が決つてい

もありません。会員のうち企業をおやりになつていらっしゃる方に広告料を頂き、同窓生がどこでどんな企業や事業を行っているか一目でわかるようなものを作りたいと

同窓会総会及び創基百周年記念事業後援会総会終了後、鳥羽市ぶらじる丸の大食堂において懇親会が開催され、会員及び学校関係者が多数参加いたしました。

懇親会

小池忠平顧問の音頭により乾杯が行われ、和気あいあいのうちに楽しい懇親の場が広がりました。

(一同拍手)

創基百周年記念事業も、好調な募金に支えられて順調な軌道に乗りつつありますので、参加者の気持ちも昨年と比較してより和やかな感じが強かったように思われます。



本部理事会

西島会長より創基百周年記念事業に対する同窓生及び企業の募金活動に御尽力いただきました各理事に感謝の意がのべられました。また、翌日の同窓会総会及び百周年後援会総会について、種々の討議が数時間に渡って行われました。

内容につきましては、総会記事と重複いたしますので、総会提出議題以外のごとと、今後の同窓会活動について討議された事項を記載いたします。

一、役員改選について

今年度は記念事業遂行のため全員とりあえず一ヶ年留年とするが、昨年より募金活動を通じて、若い

同窓生の働きが...であることが、現在盛り上っているこの動きを絶やすことのないよう、若い人の理事就任が京浜及び阪神地区理事より要請されました。

一、今後の同窓会活動のあり方

一昨年から活動は募金が主であったわけですが、今後の同窓会は、楽しく、且つ、会員にメリットのあるものとして活動すべきである点で意見の一致をみました。

具体案としては

イ、毎年開催される総会は隔年鳥羽で行いその間、東京、名古屋、神戸と持ち廻りとして、多数の出席が可能になるようにする。

ロ、同窓生の再就職について求人・求職の両面から積極的に取り組む。

ハ、本部事務室を百周年記念会館内に設けパートタイマー等、専従者を置く、必要に迫まられている点を十分配慮する。

二、百周年記念事業

創基百周年記念事業後援会により同窓会役員は式典時、それぞれ担当が決まられていますので、10月30日夜、鳥羽に来ていただき、10月31日、11月1日は担当部門に従事していただくことで了承を得ました。

尚、理事会出席者は左記の方です。

- 西島好夫、小島明正、押尾定夫、江崎広治、竹内作夫、堤好造、岡崎武義、駒田秀男、浦田楠雄、山崎修、今高光雄、西川慶堂、

小原博、上野和泉、浅野和昭、中島好康、東爪佐七、落合弘明、林幹夫、竹内茂七、松本暢生、齊藤隆、岩田和男、辻 裕
計二十四名

「学校だより」

◎オリエンテーション

例年行なっている新入生のオリエンテーションは、四月十六日(休)十八日(休)の三日間、鈴鹿青少年スポーツセンターで実施されました。親元を初めて離れ、本校での寮生活に一日も早く慣れるべく、集団生活におけるマナー、責任感、自主性を培うための種々講習が行なわれました。

◎海外からの視察

三月二十日、象牙海岸共和国の海運省商船学校担当局長と海洋学校校長を兼任されるMr. Sogodogo Soulemane (三十六才) が来校されました。同氏は、国際協力事業団の技術協力計画にもとづき来日され、海洋科学技術学校の研修の一環として本校に立ち寄られたわけで、全施設をくまなく熱心に見学していかれました。

◎新任教官

本年四月一日付を以って、次の新任教官が就任されました。

●航海学科

- 天野宏一講師、(昭和四十四年神戸商船大学卒、山下新日本汽船KKを退社)
- 石田邦光一助手、(昭和五十五年東京商船大学乗船実習科航海学

専攻校

- 鈴木秀司一助手、鳥羽丸一等航海士、(昭和四十八年本校卒、川崎汽船KKから出向)
- 岡本吉範一助手、鳥羽丸二等航海士、(昭和四十九年本校卒、山下新日本汽船KKから出向)

●機関学科

- 廣地武郎一助手、(昭和五十三年京都大学大学院卒、日立製作所日立工場退社)
- 天野、石田、廣地各教官は専任として、末永く学生指導にあたることに、また、鈴木、岡本両教官は本校同窓生として二年間、学生指導にあたることになりました。

◎退任教官

- 本年三月三十一日付を以って、次の教官が退任されました。
- 航海学科
 - 黒田不二夫一航海訓練所へ復帰
 - 福山道夫一川崎汽船KKへ復帰
 - 大川環一山下新日本汽船KKへ復帰
- 機関学科
 - 小林正和一ジャパンラインKKへ復帰

●機関学科

- 佐伯有史一川崎汽船KKへ復帰
- 各教官は、二一三年派遣教官として学生指導に御尽力されましたが、今後の御活躍を祈っております。(中村本部長記事)

【西島会長の叙勲】

会長の長年に亘る地方行政における貢献に対しては、昨年県民功労賞が贈られておりますが、今回春の叙勲に際しまして、勲四等旭日小授章が贈られました。祝賀会

は六月十六日、伊勢市内の伊勢国際ホテルで開催され、本部からは西川副会長、学校側からも関係者が出席してお祝い申し上げました。



創基百周年記念事業後援会報告

和田会長挨拶

本日はお暑いところ多数御参集下さいまして有難うございます。百年にわたる本校の名声と鳥羽商船に対する信用というものが海運界はもとより各界に非常に広まっています。あわせて山門学校長西島同窓会長以下役員の皆様方、教職員、同窓会のそれぞれの皆様方が打って一丸となつてご協力下さつたお蔭をもちまして、養々と事業の計画が進んでいるわけであります。

後援会だよりですにご承知かと思ひますが法人関係では申込金額九千万円強、同窓会、学校教職員その他の方々を含めて約八千万円となつております。目標額の二億円もあとほんの一息の所ですので、今後努力を続けさせればほぼ目標額を達成できるのではないかと思ひます。

同窓会に在籍する者の数が二千数百名という誠に小規模な団体であり、また鳥羽という遠隔地にありながら、現在これだけの募金が集まっているのは百年にわたる先輩諸兄が築いてこられた鳥羽商船の名声と信用のためものと思ひます。

和田先生、西島同窓会長と三人で船主協会、中核大社他諸会社を訪問してまいりましたのですが、各社の社長さん方が皆快よく募金を引受けて下さいましたのは和田先生のご人徳もさることながら、同窓諸兄の多年の功績と信用があったことによるものと深く感謝しています。我が校としましても船主協会にご協力をいただくとともに就職依頼で会社を訪問する際にも教務主事、航機学科主任を中心に係の教官が幾度も各会社にお願ひにまいりました。募金にご協力いただいた企業関係の数は東京商船大学の八十三社に対して、本校の場合は陸上企業も含めて現在百二十四社におよんでいます。これもひとえに同窓生各位が広く各方面でご活躍してみえるお蔭だと感謝いたしております。

諸行事をいかにして緻密に、正確に、しかも皆様にご迷惑をかけないようにやっていくかが課題であります。同窓会の皆様の大なるご協力を仰ぎながら、これらが首尾よく完遂できますよう努力する所存でありますのでどうか宜しくお願い致します。有難うございました。

山門副会長挨拶

記念会館は玄関の右手の一番立地条件のよい場所に建設予定でありますし、また西島同窓会長のお骨折りによる俳人山口誓子の句碑が百周年記念碑として玄関前にすでに建立されています。記念行事の方も学校を中心にしてその準備につつがなく進められているように存じています。私共後援会といたしましても、丁度百周年の時に居寄せたことを幸に思い、いつまでも記憶に残るような記念式典、記念事業になるように全力を尽くしてまいりますので、今一度同窓の皆様は今後一層のご指導とご鞭撻ならびに一層のお力添えをたまわりたいと思ひます。

終りに臨み、重ねてお礼の言葉を申しのべます。

ご挨拶申しあげます。
本日はお忙しい中を多数お集りいただき有難うございます。五十二年六月に百周年記念事業後援会が正式に発足した訳ですがこの間同窓生各位の並々ならぬご尽力をたまわり、お蔭をもちまして目標額に今一息という所までになりました。皆様方のご努力に対して心からお礼を申し上げます。

二、記念会館の建設位置変更について

前号でお知らせしました記念会館の建設予定位置が、学校の建造物の将来計画との全体的バランスを考へて、国道沿い(四車線に拡中)、新正門を入つてすぐ近くの最良の位置に変更されました。現在の木造倉庫を取壊して、その跡に建設することになります。現在地盤調査のためボーリング検査が行なわれています。

(3) 航海訓練所練習帆船日本丸見学会

鑑地は鳥羽市佐田浜沖北約九百米の海上です。見学会は十一月一日から十一月三日までの三日間を予定し、見学時間は毎日午前九時から午後三時半となります。鳥羽港棧橋と日本丸との往復は本校がチャーターした遊覧船を使用します。荒天の場合は中止することがあります。近年の帆船ブームに加えて日本丸の鳥羽港入港は初めてのことでですので見学者が殺到することを予想されます。

一、報道機関による百周年記念事業等の紹介について

先にお送りしました後援会だより(創刊号)以後の経過についてお知らせいたします。

十一月二日の午前十時から約二時間とお知らせしましたが、講師、曾野明先生のご都合で同日の午後一時半から約二時間と変更されました。

遊覧船の輸送能力、日本丸の一回の見学能力などを考慮しますと三日間の見学者数は岸壁係留の場合より大巾に減少せざるをえませんが、したがって前もって予約受けを行い、整理券を発行するなどして制限しなければなりません。

(2) 音楽会

百周年事業後援会総会で黒柳徹子女史をお招きする予定とご報告し、また一部の新聞報道もありましたが、女史のスケジュールの都合で断念せざるを得なくなりまして、替ってワナーパイオニアレコード所属のニューミュージックの人気グループ「サーカス」(五四年レコード大賞編曲賞、五四年東京音楽祭、ゴールデンスター賞受賞)にお願いし、十一月三日、十一時三十分～十二時三十分及び十四時～十五時の二回出演してもらいます。

同窓諸兄の見学希望がどの程度あるか前もって知りたいと思ひますので(同窓諸兄を優先して見学していただくために)、希望される方は百周年事業後援会事務局宛に葉書で八月十五日までにご連絡下さい。

さい。ご面倒でしょうが宜しくお願い致します。

四、その他

(1) PR関係

(イ) 六月九日、鳥羽市役所商工観光課、鳥羽市観光協会、伊勢湾フェリー株式会社、志摩観光汽船株式会社、志摩土木事務所鳥羽港管理出張所等を矢島総務委員長とPR係主任が訪ね、記念行事等のPRと協力依頼をしました。

(ロ) 百周年記念行事ポスター募集を学生、職員対象に六月五日より、一般対象に六月八日より実施しました。多数のご応募をお待ちしています。

応募作品をもとに専門家に仕上げてもらうこととなります。交通機関の駅、宿泊施設、県下の主な小、中学校、高校などに掲示してもらいます。八月末に二千枚刷り上げるよう作業を進めます。

(ハ) 学校案内パンフレット 入学志願者に対するPRも兼ねてカラー写真を中心とした学校案内パンフレットを二千部作製します。

B5判の大きさで、カラー8頁白黒4頁で、記念行事参加者、日本丸見学者全員、県下小中学校等に配布を予定しています。鳥羽丸施設、実験室、クラブ活動等を中心とした写真をもとにレイアウトします。

(ニ) 絵葉書

航空写真による校舎全景写真を含めて五枚一組として、三千組を作る予定です。日本丸関係の写真は別途に三千組を予定しており、

目下手続作業中となります。

記念碑、記念会館、鳥羽丸等が含まれるものと思われまます。

(2) 記録放送

創基百周年記念行事の記録を乗船中等で出席できなかった方に後日見て頂くようにいたします。

(イ) 8ミリ写真

伊勢・鳥羽地区の8ミリ同好会に依頼して三日間の行事中心に記録写真を撮り、仕上り三十分のものを作成します。

(ロ) VTR

8ミリの補助として学校の2台の機械で、本校職員が担当する。仕上り三十分程度にする予定です。

以上、その後の経過を一部の変更を含めて報告させていただきます。今後とも宜しくご協力のほど宜しくお願い致します。

記念式典時に

開催されるクラス会

来る十一月一日の記念式典に出席される会員のため、かなりの数のクラス会が鳥羽周辺で開催されます。同窓会本部事務局といたしましては、募金に対する御礼に御挨拶に参上する予定もあります。

同窓会理事や陸上勤務でクラスの中心的役割を果たしておられる会員に返信用のハガキ同封で返事をお願いしましたが、会報発行の期限もありましたので、判明分についてのみ掲載いたしました。

昭和九年 鳥羽市鳥羽 錦浦館

昭和十一年 鳥羽市安楽

鳥羽市安楽島 シーサイドホテル

昭和十五年 鳥羽市鳥羽

錦浦館

昭和十六年 鳥羽市鳥羽

あらみ荘

昭和十七年 鳥羽市内

会場未定

昭和十八年 鳥羽市安楽島

グリーンヒルホテル

昭和十九年 浜島町南張

国民年金保養センター

はまじま

昭和二十二年 鳥羽市小浜

姫島ホテル

昭和二十三年 昭羽市鳥羽

あらみ荘

昭和二十六年 鳥羽市内

会場未定

昭和二十七年 鳥羽市内

会場未定

昭和三十五年 二見町池の浦

池の浦ビラ

昭和三十七年 昭和三十七年

場所未定

昭和四十二年 鳥羽市安楽島

いそぶえ荘

昭和四十八年 昭和四十八年

場所未定

支部便り

【函館支部】

函館支部一同元気にやっております。今回は大変嬉しいニュースをおとどけます。

S50F 松井義宣君が、東京の中央鉄道学園大学課程の業務課コースに合格され、四月一日に入学されました。三カ年の教育期間中は現在の給料を支給され、卒業後は鉄道管理局勤務のエリートコースを歩まれることになり、私共青函連絡船に勤務する者はもちろん函館支部一同心から喜んでおられる次第です。三月末に送別会を開き同君の前途を祝福しました。

八月中に支部総会を開催すべく準備に入っておりますので本部からの御米道をおまち申し上げます。(奥田宣雄記)

【京浜支部】

創基百周年記念事業の式典も、いよいよあと五カ月後に迫りました。幸い募金の方も目標額の九〇%の達成率となり、予定通り記念行事は実施されるようで誠に喜ばしい限りです。

現在、京浜地区在住会員約五百五十人のうち募金者は三百八十人程度で、目標額二千万円に対し一千八百万円です。まだ百七十人の人が協力してくれておりません。今後百五十周年記念事業に参画できる人はほとんどおりません。

これが最後の呼びかけです。あと二百万円で目標は達せられます。記念事業は、より多くの人が参画することに意義があります。二万〜三万円程度の募金額で結構です。今後同窓会関係の会合に顔出しできなくなるようなことだけは避けたいものです。ご協力をお願いします。

なお、十一月の京浜支部の総会は創基百周年記念式典の月と重なりまますので、本年は支部の総会を開かない予定です。このような機会は二度とありませんので、出来る限り十一月一日の鳥羽での式典の方にご参加下さるようお願いいたします。

本年は十月三十一日(土)に鳥羽方面でクラス会が二十クラスぐらい開催され、式典には約四百〜五百人ぐらいの同窓生の参加が予想されています。

また、本年十二月十五日(火)には日本海運倶楽部で全日本船舶職員協会(会長和田春生)主催の同会五十年史刊行の出版記念パーティー兼商船高専五校の京浜支部の連合同窓会的な行事がありますので、出来る限り多くの人が参加されるように、今からご協力をお願いします。(浅野理事記)

【名古屋支部】

3月初に募金の免税措置期間延長が、昭和57年3月31日迄となった連絡により、同窓会・学校側共に募金目標額達成を目指している旨を訴え、未納の会員に募金促進の依頼文を、3月20日二〇〇通発送しました。

4月25日開催された記念事業後援会と同窓会の役員会には支部長代理として山本理事が、行事計画等の審議に参加しました。

募金状況は5月25日付の後援会だよりに記載されてある通り企業関係の募金よりも同窓生分が20%ほどすくない状況です。なお未納

の会員には、夏のボーナス支給時に納付する様な募金促進の要請文を6月5日、一九〇通発送して募金運動に努力しています。なお、募金委員宛にも同様にクラス・企業別の会員に電話連絡を依頼しました。

記念すべき11月1日も後一〇〇日余りとなり、支部の目標額(残り、三〇〇、〇〇〇円)を達成する様に協力いたします。

6月6日開催された同窓会の理事会には山崎理事、翌7日の総会は関口支部長S19N山本理事、S19N西川氏が出席し、当日に決議された本部の趣意に沿って、募金促進活動に一段と拍車を掛けるよう計画しています。(山崎理事)

【四日市支部】

去る五月三十日、昨年に引き続き近鉄四日市駅前のレストラン「ノーキョー」に於て、学校及び本部から矢島先生、落合先生、斉藤先生をお招きし、第二十回総会を開催しました。

支部長から創基百年記念事業に關し支部理事長会議等の経過報告ののち、学校側から矢島先生、本部から落合先生の同事業進捗状況説明があり、寄附金受付状況については、十分といえないまでも、事業達成の見通しが明るくなつたとの報告で、一同ホッとすると同時に、更により良い事業成功に向けて支部目標額達成のため努力推進することを決議し、懇談に移りました。

なお、支部会員の五十六年四月二十四日現在における寄附状況は

次のとおりです。

- 会員数 一八〇名
- 既寄附者数 一一四名
- 寄附者達成率 六三・五%
- 寄附金額 五、七六四三円
- 一人当り寄附金額 五二四円

今回多数の会員の欠回答状に「出席したいが他の会合等と重なり出席不可、残念」との添書があり、理事一同今回は早目に案内状を送付し、予定を先に取ってもらおうと考えています。各会員におかれましても五十七年五月末頃には、支部総会があるものとして今から心がけて下さるようお願いしておきます。

【出席者】

加藤重三郎、水谷学、末崎弘、藤田市郎、裏山惣一、富岡久、中野清文、沖田彬、中西新治、石垣三郎、大山富嗣

E科

- 沢田定一、伊藤邦生、松永三郎、柳川元一、小坂仁、広岡隆二、今高光雄、山本勇、吉田秀雄、北岡万二、上村賢治、浜口嘉伸、北岡克也、駒田康治

(中西理事記)

【大阪支部】

大阪支部長小原博さんは本年四月一日をもちまして近畿海運局総務部長を退職されまして、東洋埠職株式会社勤務されるようになりました。このため暫らくは東京勤務を続けられます。

この間支部長代行を近畿港運(株)西山誠作さんをお願いしているわけですが、本日()には御両人共

勤務の都合上出席出来難く、昨日の理事会のみ小原支部長が出席いたしました。本日の総会支部報告は私、中西勤が行います。

さて昨年来一ヶ年の大阪支部といたしましては、昨年の総会の決議にのっとりて支部役員会及び募金委員会の招集を行いまして、本部の意向に従い、尚一層の運動を万場一致で決めました。この運動は一人でも多くの人が参加することに意義があることから、まず手始めに縦の線、横の線より電話による開拓と書類による意識のよびかけが行われました。

これらの運動は支部役員の緊密な連絡が必要であるということから役員会は度々行われました。

本年三月二十七日支部総会を開催いたしました。本部より斉藤理事が出席され、これまでの経過説明がなされました。その時にこれまでの募金活動の報告、並びに今後も締切までは活動を続けて行くことと支部総会の決議がなされました。(中西理事報告より)

【神戸支部】

去る三月二十日開幕された神戸博が、予想を遙かに上廻り熱気を感じている神戸では、母校百周年記念を、あと余すところ五ヶ月に控え、五月二十九日午後五時三十分、"シヤチ"にて神戸支部総会を、四十七名(学校関係者を含む)をもって開催しました。

次第に従い、前野支部長の挨拶、支部活動、学校より山門校長先生の挨拶、及び事業計画斎藤先生より同窓会、後援会の学校当局との

連携作業等々拝聴し、今更乍ら学校と後援会の並々ならぬ御協力を謝し、一同何があんでも母校百周年事業を、成功させねばと、万場その意気込みが、みなぎっていました。

支部長より前回以降の経過報告及び当支部の募金割当ての千五百万円に対し、現在までの募金金額は九十一%となっています。これは当支部の卒業年度別により構成されており募金委員会の力によるところが大きく、従って百周年事業が終つてからもこの委員会を継続し、支部活動の中心として一層の活躍を期待している次第です。

乾杯、懇親会となり全員なごやかな雰囲気を残したまま、来る十一月一日母校での再会を約し午後八時四十五分散会しました。(前野支部長記)

【関門支部】

関門支部は本部から遠く、積極的に事業の支援ができない点をおわびいたします。一昨年に続き、二度目の募金旅行を長崎、佐賀の両県に在住する同窓生に対して行って参りまして、私がまとめて本部を経由して送金させて頂きました。関門地区在住の会員は、和田九島会会長、南会員等お互いに電話で連絡し合っておりまして、十一月の式典にはできるだけ多く出席するよう張り切っております。(福永支部長記)

【伊勢・志摩支部】

記念式典が近づくに従って、本部と一々()なっています当支部と

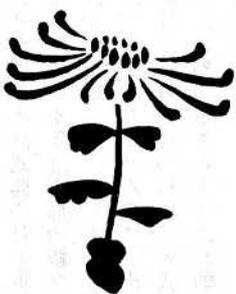
いたしましたも、役員会等を開きその対応に万全を期す必要に迫まられています。

募金活動につきましては、割当額の八〇パーセントを達成しておりますので、残り二十パーセントの会員に対しては、再度支部長名で協力を依頼する文書を七月上旬に発送します。

申し遅れましたが、昨年春にお亡くなりになった当支部の藤本朗之助機関長の奥様が、「陸に上った河童の日記」と題された小冊子をお出しになり新聞でも報道されました。

こまめにつけられていた機関長の日記をもとにしたもので、本校卒業生の生き様を知るうえで大変参考になりました。なかでも「老人の心得十カ条」なるものは心暖まるものがあります。

さて、西川支部長が本部担当副会長に就任されましたので、谷口副会長の代行的役割を果たして参りました私の立場もぐっと楽になるものと期待しております。記念式典に際し、同窓生の皆様の宿舎の手配等をスムーズにいたすべく努力中といったところであります。(H・O記)



百周年記念事業寄附金申込及納入状況調書

昭和56年 6月30日現在

区 分	申 込 金 額	納 入 金 額	備 考
企 業 127社	96,160,000	78,680,000	未納 船主協会他 2 団体 1,700万 姫路高力ナット(手形) 30万 近鉄志摩観光他 2 18万
同窓会員 1,520名			
航 海 学 科	41,875,000	41,725,000	
機 関 学 科	31,889,000	31,739,000	
団 体	1,300,000	1,300,000	
小 計	75,064,000	74,764,000	
職 員 115名	5,240,000	4,631,000	
一 般 193名	4,227,579	4,217,579	
合 計	180,691,579	162,292,579	



記念会館・記念碑配置図

募金納入一欄 (創基百周年記念事業後援会だより記載以後納入分)

卒業年度	県別	氏名	申込金額	納入金額
48	愛知	小橋 常久		50
49	兵庫	八木 武人		30
"	愛知	杉下 哲明		30
50	千葉	村上 賀一		10
51	神奈川	菅原 秀樹		10
"	三重	林 俊克		30
52	愛知	大坪 裕一		10
"	"	岡松 保樹		30
"	大阪	椿本 洋一	合計	15
"	"	町 裕次	合計	50
53	茨城	瀬能 明		50
55	三重	糸川 賢裕		30
"	大阪	清久 裕		10
"	岐阜	高橋 秀文		30
"	三重	藤田 稔豊		10
"	大阪	藤田 明宏		5
"	三重	壺井 善明		20
"	大阪	守屋 貴之		30
"	愛知	山田 哲也		10
				3,340,000

(機関科)

卒業年度	県別	氏名	申込金額	納入金額
T-5	兵庫	上山 貞男	合計	100
T-9	東京	駒田 定生		50
T-11	埼玉	沢田 秀雄		50
T-13	兵庫	大矢 亮平		30
"	"	金久 要藏		50
"	三重	赤塚 季孝		10
T-14	"	山林 規矩藏		100
"	東京	中頭 武三		30
"	徳島	今井 文三		10
S-2	神奈川	井村 頼四		50
3	兵庫	小林 理一		5
6	三重	松永 三良		50
7	兵庫	向原 充男		50
9	北海道	渡辺 松男	50	10
10	岐阜	卓原 操	合計	100
11	福岡	吉丸 登		50
13	三重	安田 太津		50
15	三重	小海 途靖		30
17	和歌山	岡野 実保		100
18	兵庫	田口 成次	合計	100
"	岐阜	藤井 正人		20
"	奈良	嶋村 一		50
19	和歌山	森 昭男		10
"	静岡	岡中 村春		50

(航海科) (合計とあるのは分割払いの方の合計額です。)

卒業年度	県別	氏名	申込金額	納入金額
T-4	神奈川	奥平 麟太郎		20
"	東京	佐藤 信次		20
T-8	神奈川	小西 茂雄		20
T-11	三重	中村 由郎		50
T-12	愛知	居鳥 宗一郎		25
T-14	大阪	花崎 間吾		30
S-4	広島	島浅井 無我作		50
6	福岡	井上 利夫		10
8	兵庫	北吉 平義		150
13	三重	倉田 繁俊		50
18	神奈川	高安 謙二郎		50
19	"	浅野 和昭	合計	100
19-12	三重	久山 昇		50
"	徳島	三田村 広義		100
"	兵庫	中林 義人		100
21	神奈川	荒巻 武郎		30
"	"	川村 喜一郎		30
"	三重	中野 清文	合計	50
"	北海道	藤田 太三良		30
"	CANADA	浜 一郎		1,000
22	長野	柳原 玉喜		50
23	佐賀	坂野 清		50
24	福岡	田村 成治		30
"	三重	待井 信一	合計	100
25	愛知	大山 紀一		30
26	"	磯村 照夫		30
"	奈良	三本松 昇		100
"	三重	松本 暢生		100
"	神奈川	浜口 宰	合計	95
28	茨城	川崎 忠		5
"	兵庫	高嶋 英二		30
29	三重	田村 豊治		100
30	兵庫	塩沢 進		50
32	岐阜	坪井 清吉		100
33	神奈川	近松 明		50
36	茨城	郡司 卓		10
37	埼玉	小野 裕三		30
"	三重	石垣 三郎		40
38	埼玉	武部 二三男		100
39	愛知	船橋 晴雄		30
43	三重	服部 光幸		50
"	東京	関口 昇一		10
44	岐阜	中山 州史		5
"	愛知	吉岡 茂樹		20
48	兵庫	富岡 栄一郎	合計	20
"	大阪	村木 国夫		30

卒業年度	県	別	氏名	申込金額	納入金額
"	愛	知	木村安男		3
"	兵	庫	漁野博教		5
53	大	阪	板東秀樹		5
"	三	重	片岡敏明		10
"	"	"	中井信之		10
"	愛	知	清水寿司		30
54	三	重	川井章弘		5
"	愛	知	間瀬幸雄		20
"	神	奈	川高木一克	20	2
"	三	重	北岡須武		3
55	三	重	黒宮田広		20
"	"	"	須田宏志		10
"	"	"	森村克典		5
"	"	"	田中克尚		20
"	三	重	斎藤克尚		10

2,685,200
 小計6,025,200
 同窓生総合計 75,787,000

卒業年度	県	別	氏名	申込金額	納入金額
19-12	岐	阜	増田三郎		50
"	愛	知	斎藤正宗		50
"	兵	庫	神崎晋作		50
"	"	"	山本新夫		50
21	愛	知	浅井五		50
"	埼	玉	金子子		10
"	神	奈	品川昭		30
"	東	京	島上健		30
22	神	奈	宮川弘一		10
"	愛	知	川島秀夫		50
23	岡	山	山地忠義		30
"	静	岡	沢崎貞夫		50
"	奈	良	藤田三		50
24	北	海	道桜井明		30
25	長	野	伊藤勲		100
27	東	京	大下倉三		50
"	三	重	田中健介		100
28	長	崎	山崎治己		10
30	兵	大	静岡重		30
"	"	"	阪岡重		30
31	三	神	奈川上之		30
32	神	奈	茨城石		30
33	茨	大	神奈川		20
"	"	"	阪川重		10
34	三	千	茨城伊		30
"	"	"	北村克己		20
35	茨	鹿	児島塚中		30
"	鹿	東	児京島		20
"	鹿	兵	児島磯		10
36	兵	庫	杉本嘉		50
37	栃	木	榎谷雄次		30
"	兵	庫	中野秀夫		30
42	東	京	豊崎義博		50
"	"	重	山本正久		20
43	三	重	山崎政幸		2
44	三	重	森本政幸		30
"	"	"	宮崎博		50
"	"	"	岡島裕		10
48	"	"	中川人		20
49	東	京	塚原義人		5
"	静	岡	渡辺嘉		5
"	岐	阜	高橋光		30
50	三	重	山田朗		50
"	"	"	岡田清美		50
52	奈	良	高岡秀夫		15
"	三	重	中山野聖		10
"	愛	知	山本慎		20

合計

合計
合計

海外在住同窓生より大口募金！
 カナダのトロントに在住され手
 広く事業をされているNT21・浜
 一郎さんから百万円の大口募金を
 いただき、創基百周年記念事業後
 援会はもちろん同窓会本部も心か
 ら感謝しております。
 一昨年来日された時、本校にも
 立寄っていただきましたが、その
 折募金にも協力するということで
 ご無理をお願いしました所、手紙
 や、わざ／＼電話まで掛けて下さ
 って、電信為替で送金していただ
 きました。
 異国の地に在りながら母校の為
 を思っ下さる先輩の暖かい気持
 を御披露したいと思います。

紳士、淑女の憩いの場

喫茶モカ

伊勢市宇治山田駅前明倫マーケット

TEL 0596-24-2961

S 11 E (53期) 楠木亀之助

ナショナル特約店

山本電気

エンジニアの技術を生かした電気の総合コンサルタント

伊勢市国道23号店 TEL0596-36-1232
大湊店 TEL0596-36-0298

S 36 E (78期) 須永博

★急告★

創基百周年記念式典出席者の宿泊について

創基百周年記念式典には、募金に御協力頂きました同窓生に対しましては和田春生記念事業後援会長名で招待状が九月上旬に発送される予定であります。前日の十月三十一日の宿泊につきましては、招待者(企業等大口寄附者や関係官庁が中心)以外は記念事業後援会ではお世話をしない方針が決定されました。しかし同窓会本部といたしましては、切角の記念式典に遠路はるばる御出席下さる個人あるいはグループの同窓生に対しては宿泊のお世話をするのが当然と考えましてあらかじめ同窓会名で予約をしております。記念式典が行われます十一月一日前後は観光シーズンの最盛期で、しかも今年には飛び石連休となるため宿泊を確保することは例年以上に大変であることが判明しました。

して宿泊できるよう左記の施設に部屋を押えてありますから、御希望の方は同封の振替用紙に宿泊日、人員、希望施設名、到着時間等を御記入のうえ予約金を納入して下さい。同窓会本部で責任以て予約代行して置きます。申込期限は八月十五日とします。なお先着順といたしますので、希望施設名は第二、第三、も指定して下さい。

- 御家族で御希望の方は一室を、またグループで御希望の際は二〜三名で一室を予定してありますが、なるべく皆様方にくつろいで頂けるよう考慮させて頂きます。
- 神宮会館 一泊二食五、三〇〇円
伊勢市宇治中之切町一五二
電話 〇五九六一二二一〇一九一
- 船員保険会鳥羽保養所
一泊二食 四、〇〇〇円
鳥羽市安楽島
電話 〇五九九一二五―三二八七

● シーサイド・ロッヂ あらみ荘
一泊二食 四、〇〇〇円
鳥羽市鳥羽一―二三一―一
電話 〇五九九一二五―五一四二

● 鳥羽簡易保険保養センター
一泊二食 四、〇〇〇円
鳥羽市安楽島
電話 〇五九九一二五―四一〇一

● 鳥羽市安楽島
鳥羽市鳥羽一―六一―一
電話 〇五九九一二五―五一〇一
近鉄観光池の浦ピラ
一泊二食一〇、〇〇〇円
(一室二名で)

● 二見町池の浦(学校に最も近い)
電話 〇五九六四一三一―二五〇一
● 国家公務員共済組合連合会鳥羽保養所
一泊一食 三、〇〇〇円
(夕食は二、〇〇〇円三、〇〇〇円)
いそぶえ荘
鳥羽市安楽島一〇七五番地
電話 〇五九九一二五―三二二六

御主人が乗船中の場合も電報等によって御連絡をつけて頂きますようお願い申し上げます。同窓会本部では記念式典に御出席賜わる

同窓生を五〇〇名前後と予定しておりますので、宿泊につきましては殊のほか気を配っております故御了承下さい。また申込み後御宿泊出来ないようになった場合は、一ヶ月前つまり九月末まではキャンセル料をとられないようにする考えで作業を進めています。

